

行政手続きのDX	人材育成・確保
デジタルガバメント	サービスデザイン
デジタルデバйд	新技術活用
スマートシティ	デジタル予算

## 1. 都市基礎データ

国名	都市名	人口	面積
アメリカ	カリフォルニア州ロサンゼルス市	382万人(2022年)	1.302 km <sup>2</sup>

## 2. 取組内容

## ■ 取組の背景

- 2020年の離職奨励金プログラムや大量辞職以降、IT人材確保に苦戦しており、質の高いIT人材の採用と維持において危機的レベルに達していると認識。
- そこで、ロサンゼルス市の情報技術庁（ITA）は、2022年の秋から全市的な「IT人材に関するリーダーシップ会議」を開催し、各部署からのフィードバックを受けた上で、民間のガートナー・コンサルティングおよび市のIT政策委員会（ITPC）と連携し、「ロサンゼルスIT人材計画」を策定した。
- 人材のライフサイクル毎（採用、育成、維持、継承）に具体的な施策を掲げ、2023年の取組のスケジュールを策定している。

## ■ 具体的な取組

- 採用イベントの開催（ハッカソン、地域テクノロジー会議、コーディングアカデミー、就職フェアなど）、SNSやPR動画を通じた広報活動の強化
- IT人材向けの研修スケジュールを整備し、市が求める4つのIT人材ペルソナ（Emerging Technology Architect、Modern System Developer、Heritage System Expert、Flexible Technology Leader）毎に研修コースを提供する
- IT人材の交流やメンタルヘルス向上のため、ゲーム大会、バーチャルランチ・飲み会、LA Tech Toastmastersなどを開催
  - ✓ LA Tech Toastmasters：プレゼンスキルやリーダーシップを教える非営利団体のToastmasters Internationalと提携して、ITAの職員向けに月に数回メンタリングや説明会を提供している
- 市のナレッジウェアハウスツール「ServiceNow」をタイムリーなITトラブルシューティングや習得したナレッジの保存場所として活用する。

## 3. 関係機関

- Information Technology Agency City of Los Angeles (ITA)

## 4. 取組の結果・効果

## ■ 今後期待される効果

- 様々な採用イベントを複数の媒体を通じて行い、市のIT人材の多様性を拡大し、多様性を通じたサービスの質向上を目指す。
- 市全部門のIT人材向けに提供される研修コースは、4つのIT人材ペルソナを育成する為の様々なトピックに渡って提供される。また、Codecademy、Udemy、A Cloud Guruなどのオンライン研修を部門の予算によりITスタッフが利用出来るようにする。
- 定期的な交流やグループ活動、Google SpaceやSlackチャネルを活用したソーシャルプラットフォームを通じて、IT人材のエンゲージメント及びスキルの向上、IT人材間の連携が強化される。
- ITAは年間53,000件以上の市役所内のITトラブル対応を行っており、この知見をService Nowに集約することで、サービス対応時間の短縮だけでなく、市のIT人材が問題解決の手段としてServiceNowのナレッジベースを利用できるようになる。

## 5. 東京都への応用の可能性（選定理由）

- スキル定義を明確にしたIT人材の育成・確保、エンゲージメント向上、リスティング機会を提供している各種取組み（研修プログラム、採用イベント、メンタリング）やツールの機能を深掘りすることで、シントセイ施策の早期実現に向けた人材育成戦略を構築するための示唆が得られる。

## 6. 参考URL

- ITA “Strategic Plan 2022-2023”  
(<https://ita.lacity.gov/about/strategic-plan>)
- ITA “Los Angeles IT Workforce Plan”  
(<https://ita.lacity.gov/news/ita-publishes-los-angeles-it-workforce-plan>)

\*採用イベント：大学キャンパスでの採用イベント、地域の就職フェア、地域の技術協議会、ハッカソン、コーディングアカデミーなど